

No.142 (不定期配信)

“Great Wall” Street Journal

長城街日報

～中国株の現場から～



東洋証券株式会社
上海駐在員事務所 所長
奥山 要一郎
2007年入社、本社シニアストラテジ
スト等を経て、2015年より現職

「加油(ジアヨウ)！」の季節がやって来る

「英米社会の基本であり、人々を団結させる最良の手段であるスポーツに熱中することもない」——。中国人の性格をこう喝破したのは、著名文学者・言語学者の林語堂だ（「MY COUNTRY AND MY PEOPLE」(邦題:「中国＝文化と思想」)より)。また、こうも述べる。「宗教、政治、スポーツなどといったものは、いずれも中国の社会には明らかに欠如している要素である」。先週、バスケットボールの試合で乱闘や人種差別的発言が起き、サッカー界では選手による審判への暴言・脅迫・暴力があった。いずれも中国のプロリーグでの出来事。このような現状を見るにつけ、門外漢の私ですら「残念ながらスポーツに向いてないのでは……」と思ってしまう。

★ ★ ★ ★ ★

北京冬季オリンピック・パラリンピック(2/4～20、3/4～13)の開幕まで2週間余り。現地は五輪ムードで一色……と言いたいところだが、上海の街では控えめに言っても全く盛り上がっていない。職場や家庭で話題に上ることも少ないようだ。国営放送やネットメディアは五輪関連ニュースをこれでもかと流しているが、ややスベリ気味で虚しい雰囲気を感じるのは私だけではないだろう。もちろん開催地の北京周辺ではカウントダウンのモニュメントなどが飾られ、五輪感は一応高まっている。だが、市民の一番の関心事は、新型コロナのオミクロン株の感染拡大や、春節(旧正月、2/1)に無事帰省できるかなど。五輪は二の次三の次、というのがホンネだろう。

ウィンタースポーツは中国ではまだまだマイナーだ。しかし、アイススケートリンク併設の商業施設が各地で登場するなど、草の根レベルでは普及している。北京の老舗モール「国貿商城」にある室内スケートリンクは1999年5月にオープン。私も北京を訪れるたびに何気なく立ち寄るのだが、ちびっ子選手や一般市民が楽しむ姿が年々増えている。リンク

脇には安踏体育用品(アンタスポーツ、02020)系のFILA店舗もあり、スポーツ客の取り込みに躍起だ。

中国観光研究院によると、雪と氷を目的とした旅行者数が今冬は延べ3億人を超え、前期比2割増になるそうだ。中国語で「冰雪旅游」という括りで、冬ならではの観光地・景勝地巡りやテーマパーク訪問、イベント参加、スキー・温泉旅行などを含む広い定義。純粋なスキー人口はまだ少ないだろうが、室内スキー場が上海や広州にも建設され、冬のアクティビティ充実の機運は着実に高まりつつある。黒竜江省の「ハルビン氷祭り」は冬の定番イベントだ。

もっとも、冬場はできるだけ温もりを求めたいものの。避寒旅行として海南島をチョイスするのが冬のお約束である。これに逆らって、先日、極寒の甘粛省を訪れてみた。新型コロナの影響が残る中、数少ない観光客としておおむね歓迎されたのだが、タクシーの運転手からは「こんな寒いときに来るなんて」と半ば呆れられた。空港では見知らぬおばさんから「出張でもないのに甘粛に行くって……(頭がどうかしているんじゃないの?)」という優しい忠告も受けた。ただでさえ寒いのに、さらに冷たくあしらわれて心が折れそうになる。それでも嘉峪関郊外の山の麓にあったスキー場は地元民で賑わっており、冬のレジャー客の端くれとして一体感を覚えたものだ。

★ ★ ★ ★ ★

開幕が迫る北京冬季五輪。中国の知人は「開催自体は知っている」と言うが、それ以上は話が膨らまない。関心の有無はまた別の問題のようだ。「興味がある!」と自信満々に言ってきた女性がいたので、見たい競技を聞いてみると、「やっぱり卓球よね。水泳も楽しみ!」と奇想天外な答え。いやはや、そうキタか……。私は飲んでいたお茶を豪快に吹き出し、椅子から転げ落ちそうになった。いずれにせよ始まれば盛り上がるのがオリンピック。合言葉はいつものように「加油(ジアヨウ)！」です。

文中の見解は全て筆者の個人的意見です。写真、グラフ、表なども全て筆者によるものです。

最終頁に重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

◆ 注 意 事 項 ◆

外国証券等について

・外国証券等は、日本国内の取引所に上場されている銘柄や日本国内で募集または売出しがあった銘柄等の場合を除き、日本国の金融商品取引法に基づく企業内容等の開示が行われておりません。

手数料等およびリスクについて

①国内株式等の手数料等およびリスクについて

・国内株式等の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2650%（税込み）の手数料をいただきます。約定代金の 1.2650%（税込み）に相当する額が 3,300 円（税込み）に満たない場合は 3,300 円（税込み）、売却約定代金が 3,300 円未満の場合は別途、当社が定めた方法により算出した金額をお支払いいただきます。国内株式等を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式等は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②外国株式等の手数料等およびリスクについて

・委託取引については、売買金額（現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買う場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対して 最大 1.1000%（税込み）の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・国内店頭取引については、お客様に提示する売り・買い店頭取引価格は、直近の外国金融商品市場等における取引価格等を基準に合理的かつ適正な方法で基準価格を算出し、基準価格と売り・買い店頭取引価格との差がそれぞれ原則として 2.50%となるように設定したものです。

・外国株式等は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

利益相反情報について

この資料の作成後、掲載された銘柄を対象とした EB 等の仕組債等を東洋証券株式会社が販売する可能性があります。また、東洋証券株式会社またはその関連会社の役員またはその家族がこの資料に掲載された企業の証券を保有する可能性、取引する可能性があります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をご覧ください。

【免責事項等】

この資料は、東洋証券株式会社が信頼できるとされる各種のデータに基づき投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成したもので、投資勧誘を目的としたものではありません。また、この資料に記載された情報の正確性および完全性を保証するものでもありません。また、将来の運用成果等を保証するものでもありません。この資料に記載された意見や予測は、資料作成時点のものであり、予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

この資料に基づき投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、東洋証券株式会社は、理由の如何を問わず、一切責任を負いません。株価の変動や、発行会社の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがありますので、投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

この資料の著作権は東洋証券株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

◇商 号 等：東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 121 号

◇加 入 協 会：日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

◇本 社 所 在 地：〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1

TEL 03 (5117) 1040

<https://www.toyo-sec.co.jp/>

2022 年 1 月 17 日
審査部審査済